

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	日本風景街道登録・整備推進事業	会計	一般会計	事業No.	516	施策順No.	11-060
		事業種別	政策・その他	予算科目	8-1-1-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	建設管理課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	20	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	1 道路・路線(風景街道) 2 沿道活動団体(市民) (行政、経済団体、住民団体、NPO他)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		風景街道登録申請数		1	2	2	2	
		パートナーシップ会議(登録申請団体数)		1	1	2	2	
意図	1 効率性や利便性のみの道路施策でなく、地域振興(観光・景観含む)を考慮した道路(街道)空間の形成 2 パラパラで行っていた沿道の様々な活動が、道路(街道)を中心として連携・結びつきにより地域独自の魅力を高める							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	風景街道登録申請数		1	2	2	2	2	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	22年度に行われた認定会議において、風景街道の登録数が2となり、目標は達成されている。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	近年、道路施策は効率化や利便性のみではなく地域の自然や歴史との調和などの視点が求められており、また、地方にとって地域振興は最重要課題でもある。そのような中で道路と地域振興(観光)を融合した新しい施策として日本風景街道戦略会議があり、路線応募の受付が開始された。当市としても登録により以下の3点に資することから推進したい。 ・道を舞台とした双方向コミュニケーションによる多様な主体による共同の取り組み ・沿道や周辺地域と道路が一体となった美しい国土景観の形成 ・地域活性化への寄与と観光振興への寄与 なお、登録申請主体は風景街道パートナーシップ会議となる。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 上村・南信濃地区(信州遠山郷「天に至るまつり古道」)の登録・認定・情報発信 (1)日本風景街道への登録・認定 (2)情報発信ほか (3)他の風景街道ルートとの情報交換等 2 南信州パノラマ街道の情報発信 (1)情報発信ほか (2)他の風景街道ルートとの情報交換等	1 (1)登録・認定時期 (2)日本風景街道ホームページへの掲載時期 (3)交流会参加数 2 (1)日本風景街道ホームページへの掲載時期 (2)交流会参加数	1 (1)8月 (2)8月 (3)2回 2 (1)通年(随時) (2)2回
23年度実施計画	1 信州遠山郷「天に至るまつり古道」の情報発信 (1)情報発信ほか (2)他の風景街道ルートとの情報交換等 2 南信州パノラマ街道の情報発信 (1)情報発信ほか (2)他の風景街道ルートとの情報交換等	1 (1)日本風景街道ホームページへの掲載時期 (2)交流会参加数 2 (1)日本風景街道ホームページへの掲載時期 (2)交流会参加数	1 (1)通年(随時) (2)2回 2 (1)通年(随時) (2)2回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	一般財源		42	11	95	
	計(A)		42	11	95	
	正規職員所要時間			50		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			179		
	トータルコスト A+B			190		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額:千円 (1店舗あたりの売上高)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	南信州地域において2つのルートが認定、登録されたことにより、地域の情報をより発信できるようになった。特に遠山郷観光協会は主体的に活動を行っている。		
	後期に向けた課題	5市町村にまたがる南信州パノラマ街道のパートナーシップが、主体的に活動するための検討		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	国交省を通じての情報発信を積極的に行った。また、他地域の風景街道との情報交換のため、交流会等に積極的に参加した。		
	後期に向けた課題	5市町村にまたがる南信州パノラマ街道のパートナーシップが、主体的に活動するための検討		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	国のホームページ、ITSスポットの活用など、コストのかからない形での情報発信を行った。また、遠山郷風景街道ではYou Tubeを活用するなどの工夫をしている。		
	後期に向けた課題	更なる発信情報の充実		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	遠山郷については地元観光協会が主体で活動し、市はフォローする形であり、適切な形で運営されている。		
	後期に向けた課題	5市町村にまたがる南信州パノラマ街道のパートナーシップが、主体的に活動するための検討		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	遠山郷については地元観光協会が主体で活動し、市はフォローする形であり、適切な形で運営されている。		
	後期に向けた課題	5市町村にまたがる南信州パノラマ街道のパートナーシップが、主体的に活動するための検討		
全体を通じて	4年間の振り返り	当地域で2ルートが認定、登録されたことは成果として十分である。		
	後期に向けた課題	5市町村にまたがる南信州パノラマ街道のパートナーシップが、主体的に活動するための検討		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------